

アグリ筑西

2017 2月号



一段と冷え込みが厳しくなってきました。
身体が冷えると免疫力が下がってしまいます。
インフルエンザ等気を付けましょう。

県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター) 発行
Tel : 0296(24)9206 Fax : 0296(24)6979

若手農業者がプロジェクト活動の成果を発表！ ～筑西地域プロジェクト実績発表会～



1月16日、筑西合同庁舎大会議室において、筑西地域プロジェクト実績発表会を開催し、管内4Hクラブ員や関係機関など約60名が参加しました。

実績発表会第1部では、筑西4Hクラブ下館支部・筑西4Hクラブ関城支部・大地のめぐみ・協和園芸4Hクラブの各代表によるプロジェクトの実績発表が行われ、熱のこもった発表と活発な質疑応答が行われました。農業者代表等による審査の結果、筑西4Hクラブ関城支部の倉持 純一さんが最優秀賞を獲得しました。倉持純一さんは、筑西地域代表として、1月30日(月)に行われる県のプロジェクト実績発表会に出場します。(倉持さんの発表内容は裏面に記載)



第2部は、茨城県農業経営士の倉持勝 氏を講師に招き、「養豚業から6次産業化を目指して」と題して講演会を開催しました。倉持氏は下妻市で養豚業と、加工所兼直売所「ぶうーぶー」を経営しています。講演では、倉持氏が6次産業化を目指した経緯や苦勞、経営理念、そして、「とにかく行動し、結果を残すことが大事！」と、若手農業者に向けた熱いメッセージをいただきました。参加した4Hクラブ員は6次産業化にも関心が高く、意見交換も活発に行われました。

営農情報 ～こだまスイカ～



こだまスイカは株元すっきりで病害予防

こだまスイカの難敵といえば、炭そ病・菌核病。これらの病気は最初、葉の混み合う株元から発生することが多いので、2回目のつる引きで親づるの葉を子葉を含めて外してしまい、株元をすっきりさせましょう。

* 樹勢に応じて摘葉は行いましょう。

◆ 次年度に向けて ◆

播種床の苗立枯病(赤足)対策

播種床で地際から苗が倒れてしまう……。これは糸状菌による苗立枯病によるもので、育苗資材に菌が残っている事が原因と考えられます。育苗終了後、播種箱などの資材を資材消毒剤で必ず消毒しましょう。

株元スッキリ



筑西地域グリーンライフネットワーク研修会



1月12日(木)、筑西合同庁舎大会議室にて、食をテーマとして筑西地域グリーンライフネットワーク研修会を開催し、女性グループ9団体と、関係機関(市役所、JA、県西農林事務所)含めて41名が参加しました。

今年は野菜ソムリエを講師にお招きし、「おいしく食べて健康に! ~元気に輝く農家であり続けるために~」という題名でお話いただきました。

栄養は一度に吸収できないため、細かく分けて食べることが効果的であること、正しい食事は体だけでなく、精神的な安定にもつながることなど、健康を維持していくための食について話を聞くことができました。

講演後は、各グループの代表者がグループの活動を紹介し、今後の活動に向けて決意を発表し、講師から助言をいただきました。

参加者からは、「野菜の大切さを改めて感じた」、「子供の食事に気を配りたい」、などの声がかかれ、大変有意義な研修会となりました。



最優秀賞! 筑西4Hクラブ 倉持純一氏

「抑制キュウリにおける株元液肥施用回数の違いによる効果の検証」

〈発表要旨〉

近年、秋口の天候不順による減収が問題となっている。この対策として、苗定植から約20日間の初期生育を植物体が吸収しやすい液体肥料を株元に施用し、効率的に促進させることで、キュウリの収量増加に繋がりたいと考えた。そこで、液体肥料を株元に施用する回数が異なる区を設置し、初期生育への影響と収量の違い、併せて経費比較を行い、液肥施用が抑制キュウリの安定生産や経営向上に繋がるかを検討した。



その結果、液肥施用3回区の生育が最も良く、収量も慣行区(液肥無施用)の118%に増加した。また、経費比較の結果、液肥施用3回区は作業時間や資材代が増えるが、慣行区よりハウス1棟(225㎡)あたり約52,000円の増収となった。

今後は、収穫後半の成り疲れ軽減のための液肥の施用回数、施用時期等の検討や収穫中の液肥の土壌灌注や葉面散布等の併用による相乗効果の検証について取り組み、我が家の農業経営の所得向上に繋げていきたい。

ハウスレタスの出荷が最盛期をむかえています!



JA北つくば東部レタス部会では、1月10日に出荷目揃会を開催し、適期での収穫を心がけることや斑点細菌病の防除をすること等を共通認識として、改めて部会内で確認しました。

12月上旬から出荷が始まっているハウスレタスは、12月下旬から1月にかけて出荷のピークを迎えます。寒さが厳しい時期になり、ハウス内の温度もマイナスになることが多くなるため、ハウス内のトンネルも二重被覆になってきます。生産者が手間暇かけて、寒さを越えたレタスは肉厚でシャキシャキの食感が特徴的です。サラダのイメージが強いレタスですが、温かい鍋やスープ、お味噌汁にも合うレタスをぜひご賞味ください。

今月は「普及員のひとりごと」をお休みさせていただきます。
皆様からのご意見・情報をお待ちしております。